

平成 16 年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	7 6	学校名	藤代紫水高等学校				課程	全日制		学校長名	箕輪 匡子					
教頭名	朝日向 克夫								事務(室)長名	大木 誠						
教職員数	教諭	4 6	養護教諭	1	常勤講師	1	非常勤講師	2	実習教諭, 実習講師, 実習助手	1	事務職員	3	技術職員等	2	計	5 6
生徒数	小学科	1 年		2 年		3 年		4 年		合計		合計クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	2 2				
	普通科	183	98	155	119	154	141			492	358					
	科															

2 目指す学校像

教育活動の目標としてかかげる理念

- 1 生徒ひとりひとりが大切にされる
- 3 学習の技能を高める
- 5 芸術やスポーツに親しむ

- 2 安心して生活する、快適に学ぶ
- 4 自主的主体的に活動する
- 6 学校を社会に開く

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

課題

本校の教育活動において、力を入れるべきこととして保護者の要望の多かったもの。（カッコ内は要望の割合、複数回答）

- 1 社会生活のルールを身につけた自主性のある人格の養成に努めること（84%）
- 2 日々の授業を充実させること（57%）
- 3 健康で安全な生活をおくれるよう配慮すること（49%）
- 4 大学・短大・専門学校などへの進学をめざした教育活動を充実させること（45%）

4 中期的目標

教育活動の目標としてかかげる理念の実現のために、以下のとおり、教育活動の改革に取り組む

- 1 生徒ひとりひとりが大切にされる
- （1）学校は、生徒ひとりひとりの現状、希望、課題を的確に把握する。（2）学校は、生徒ひとりひとりの現状、希望、課題に応じた教育活動を展開する。（3）合理的で節度ある行動様式を育成する
- 2 安心して生活する、快適に学ぶ

- (1) 的確な時間管理 (2) 合理的で節度ある行動様式の育成 (3) 安全、清潔で快適な学習環境の形成
 (4) 安心して通学できる環境の実現
 3 学習の技能を高める
 (1) 理解・調査技能の養成 () 話されることを的確に聞き取り、理解する () テキストをみずから読みとり
 理解する () テーマについて検索し、調査する (2) 討議・発表技能の養成 () 論理を組み立て、表現する ()
 発表し、対話し、討論する
 4 自主的に活動する
 (1) 日常生活 () 成人としての社会生活にそなえる () 友人・仲間づくりを支援する
 (2) 生徒の手による文化祭・体育祭・球技会の運営 () 企画力を養成する () 組織活動能力を育成する
 5 芸術やスポーツに親しむ
 (1) 個性に応じて、芸術、スポーツを楽しむ (2) 高度な技能の獲得をめざす
 6 学校を社会に開く
 (1) 広報活動の充実 (2) 意見・要望の収集のためのシステムの確立 (3) 学校公開の実施

5 平成16年度の重点目標

年次	重点目標	具体的目標	達成状況
1年次	<p>基本的な考え方 (1) 学校生活の根幹部分である各教科の授業・特別活動の改善により、それらが真に意義あるものとなることをめざす。 (2) 特別活動においては、生徒の自主性・自発性の育成を重視する (3) 学校の業務の透明性を高める。 (4) 教員が授業と特別活動にもつぱら力を注ぐことができるよう、業務を全般的にみなおし、効率化をはかる。</p>	<p>具体的な内容 (1) 授業改革 () 教授法の研修と教材研究の重視 () 相互援助の機会の設定 () さまざまの希望、課題に対応するカリキュラムのバリエーション (4) 合理的で適切な服装基準などの設定 (5) 環境整備のための施策 () 校舎内外の清潔の実現 () 統合的な施設・設備の改善計画の樹立 (6) 通学環境の調査と改善 () 交通手段ごとの状況と問題点の把握 () 安全と利便性向上のための行動方針</p>	
2年次	前年度の達成状況をふまえて策定する	前年度の達成状況をふまえて策定する	
3年次	前年度の達成状況をふまえて策定する	前年度の達成状況をふまえて策定する	